

フリガナ ご氏名	アン ドンヒョク
	安 東 赫
企業・団体名	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
所属 (企業・団体の)	野菜花き研究部門 野菜生産システム研究領域
役職	上級研究員



ご略歴	韓国済州道出身。大阪府立大学大学院博士課程修了。農学博士。 その後、茨城県農業総合センター園芸研究所研究員、千葉大学の研究教員を経て、2009年から農研機構に在職。現在に至る。
専門および 得意な分野・研究	専門は園芸学。主に野菜の栽培生理に基づき、養液栽培・環境制御など施設栽培における多収・生産性向上技術開発研究に従事している。近年は施設野菜の生育・収量予測技術やUECSを含む環境制御技術など、施設野菜の総合生育制御技術開発に取り組んでいる。
セミナータイトル	施設栽培における「はかる生産技術」
セミナー概要	施設栽培分野では、生産人口の減少や高齢化が進んでいる中、ICT、センシングおよび環境制御技術の普及が進んでおり、収量や生産効率を飛躍的に向上できるスマート農業への期待が高まっている。しかし、実際の生産現場では環境・生体情報の収集を含め、データの解析および活用については進んでない状況で、環境制御システムの導入現場でも、生産性向上に結び付かない制御事例もみられる。そこで本セミナーでは、施設生産における生産性向上のための物質生産に着目した環境制御方法と共に、環境・生体情報の収集および解析の重要性について解説する。
ご講演中のキーワード	スマート農業、施設栽培、物質生産、環境制御、受光量、光利用効率、収量
本セミナーで 習得できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高生産性のための環境制御方法を理解できる</li> <li>・環境情報および生体情報の収集・解析の重要性</li> <li>・収量や生育状況を定量的に判断できる</li> <li>・栽培生理に基づいた多収のメカニズムが理解できる</li> </ul>